

中学歴史プリント（過去問類似）

飛鳥時代

名前

得点

/8

問1 天智天皇の後継者争いに勝利して即位した天武天皇が、その後の政治において目指した国家のあり方として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 三重公立入試 類似）

1. 天皇を中心とした強力な中央集権による律令国家の建設
2. 有力な貴族が政治の実権を握り、天皇を補佐する摂関政治の確立
3. 地方の豪族がそれぞれの土地を私有し、独立した権限を持つ封建制の導入
4. 武士が政治の表舞台に立ち、幕府を開いて軍事力を中心に統治する仕組み

問2 飛鳥時代、日本は百済などの朝鮮半島の国々から仏教や漢字、儒教といった大陸の文化を取り入れました。百済から伝えられた仏教が、その後の日本の政治や文化に与えた影響についての説明として最も適切なものを選びなさい。（2023年 三重公立入試 類似）

1. 聖徳太子（厩戸王）が仏教を厚く敬い、法隆寺などの寺院を建立して国家の安定を図った。
2. 遣唐使によってもたらされた禅宗が、鎌倉時代の武士の精神的支えとなった。
3. 平城京に大きな東大寺を建立し、全国に国分寺や国分尼寺を作ることによって地方を治めた。
4. キリスト教の伝来に対抗するため、幕府が寺請制度を整えて仏教を保護した。

問3 法隆寺の五重塔などの伝統的な建築物には、地震の揺れを逃がす仕組みとして「心柱（しんばしら）」という技術が使われています。この心柱の構造を応用し、中心部に鉄筋コンクリート製の筒を配置して制振効果を高めている現代の建造物を選びなさい。（2020年 徳島公立入試 類似）

1. 東京スカイツリー
2. 瀬戸大橋
3. 東京都庁舎
4. 明石海峡大橋

問4 大化の改新から始まる一連の政治改革において、中大兄皇子らが目指した国家のあり方として最も適切な説明はどれか。（2025年 岐阜公立入試 類似）

1. 土地と人民を国家のものとする公地公民を原則とし、天皇を中心とした中央集権国家を確立すること。
2. 有力な豪族であった蘇我氏の権限をさらに強化し、貴族たちが合議制によって政治を主導する仕組みを作ること。
3. 地方豪族を国司に任命してその地域の支配権を完全に認め、地方自治を基礎とした国づくりを進めること。
4. 唐の律令制度を拒否し、日本独自の武士による封建的な主従関係に基づいた政治体制を構築すること

問5 7世紀後半、天智天皇の死後にその跡継ぎをめぐる大海人皇子と大友皇子が争った、古代最大といわれる内乱はどれですか。（2026年 三重公立入試 類似）

1. 壬申の乱
2. 壬生の乱
3. 保元の乱
4. 平治の乱

問6 聖徳太子が「冠位十二階」や「十七条の憲法」を制定した大きな目的として、最も適切なものはどれか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 天皇を中心とした中央集権的な国家の基盤を築くため
2. 地方の有力な豪族に領地の永代支配権を認めるため
3. 仏教を排除して日本の伝統的な神道を保護するため
4. 隋から来た留学生に日本の進んだ法制度を示すため

問7 聖徳太子は十七条の憲法を制定した際、役人に対して「天皇の命令（詔）には必ず従わなければならない」という姿勢を強調しました。このような記述が盛り込まれた政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 奈良公立入試 類似）

1. 有力な豪族が対立し合っていたため、天皇を中心とした中央集権的な国家を目指す必要があったから。
2. 大宝律令に基づいた戸籍を作成し、すべての民衆に土地を平等に分配する仕組みを完成させたから。
3. 唐の制度を模範とした大規模な行政組織がすでに完成しており、その運用を円滑にするため。
4. 仏教を国教として強制し、法隆寺のような寺院の建立を最優先する国家方針を徹底させるため。

問8 7世紀半ば、朝鮮半島の南西部に位置し、日本（倭）と親密な関係にあったものの、唐と新羅の連合軍によって滅ぼされた国はどこか。日本はその復興を支援するために、663年に朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで大敗を喫することとなった。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 百済
2. 新羅
3. 高句麗
4. 任那

答え合わせ・解説

問1	答え 1 天皇を中心とした強力な中央集権による律令国家の建設	壬申の乱に勝利して絶大な権力を手にした天武天皇は、それまでの豪族たちの勢力を抑え、天皇に権力を集中させることを目指しました。この方針は後の大宝律令の完成へとつながり、日本における法に基づく統治（律令国家）の基礎となりました。
問2	答え 1 聖徳太子（厩戸王）が仏教を厚く敬い、法隆寺などの寺院を建立して国家の安定を図った。	百済から伝来した仏教は、有力豪族である蘇我氏によって受け入れられ、のちに聖徳太子の政治に取り入れられました。聖徳太子は「三宝を敬え」という内容を含む十七条の憲法を制定し、法隆寺などの寺院を建てることで、仏教を基盤とした国家づくりを進めました。これが日本最初の仏教文化である飛鳥文化の発展につながりました。
問3	答え 1 東京スカイツリー	五重塔の内部には中心を貫く独立した「心柱」があり、各層と固定されていないために地震の際に揺れを相殺する役割を果たしています。この古代からの知恵は、高さ634メートルを誇る東京スカイツリーの設計において「心柱制振」という最新技術として活用されており、歴史的な伝統技術が現代の先端建築の安全性を支える貴重な事例となっています。
問4	答え 1 土地と人民を国家のものとする公地公民を原則とし、天皇を中心とした中央集権国家を確立すること。	大化の改新の最大の目的は、それまで有力豪族（蘇我氏など）が私有していた土地や人民を国家のものとする「公地公民」の制を導入し、天皇に権力を集中させる中央集権国家を築くことにありました。これは当時の唐の制度を参考にしたものであり、後の律令国家形成へとつながる重要な改革でした。「国司の権限を強める」という選択肢は、中央集権化とは逆の方向（地方分権）を指すため誤りです。
問5	答え 1 壬申の乱	天智天皇が亡くなった後、その弟である大海人皇子と、子である大友皇子の間で後継者争いが起こりました。これが672年の壬申の乱です。勝利した大海人皇子は天武天皇として即位し、中央集権化をさらに推し進めることとなりました。
問6	答え 1 天皇を中心とした中央集権的な国家の基盤を築くため	当時は豪族同士の勢力争いが続いていたため、家柄ではなく能力で役人を登用し、さらに役人の心得を定めることで、天皇の命令が全国に行き届くような強力な政治体制（中央集権国家）を作ろうと考えました。
問7	答え 1 有力な豪族が対立し合っていたため、天皇を中心とした中央集権的な国家を目指す必要があったから。	当時は蘇我氏などの有力な豪族が政治の実権を争っており、国家としてのまとまりが欠けていました。聖徳太子は「和を以て貴しとなす」という言葉で豪族間の協調を求めつつ、天皇の命令（詔）に従うことを義務づけることで、個々の豪族の権力を抑え、天皇を中心とする秩序ある国づくりを進めようとしていました。なお、全国的な律令（大宝律令）の完成は、この憲法制定から約1世紀後のことです。
問8	答え 1 百済	7世紀の朝鮮半島では、唐と結んだ新羅が勢力を拡大していました。660年に百済が滅亡すると、日本（倭）は友好関係にあった百済の遺臣から救援を求められ、復興を支援するために大軍を派遣しました。しかし、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北したことで、百済復興の道は閉ざされました。